

【第1号議案】

令和3年度事業計画

[基本方針]

新型コロナウイルス感染拡大の影響で落ち込んだ観光需要の回復を目指して、令和4年の岡山デスティネーションキャンペーン（DC）に向け、県や会員団体・企業と連携して効果的な誘客戦略を企画・実施します。また、新たに手掛ける特産品の魅力発信と販売促進を含め、ウィズコロナ時代・デジタル化時代に適応した観光推進事業に積極的に取り組みます。

[重点事項]

1 魅力ある観光商品づくりとプロモーション

ウィズコロナ時代の新たなニーズを取り入れた旅行商品の磨き上げと販売を促進するほか、オンライン商談会や視察招致を通じて、DCへ向けたプロモーションに取り組みます。

また、コロナ禍からの回復に向け、助成金を活用し、教育旅行を含め、団体旅行の需要喚起に取り組みます。

フィルムコミッション活動では、県内の組織と連携し、積極的なロケ誘致と映像を通じた観光誘客に努めます。

2 DXの推進と多様な媒体を活用した情報発信

デジタルマーケティングを活用し、多様化するニーズに合わせた情報を「岡山観光WEB」をはじめ、多言語観光サイトやSNS、さらに、新たに作成するプロモーション動画により効率的かつ効果的に発信し、本県への滞在や周遊を促進します。また、素材ごとに最適なターゲティングとプロモーションの組み合わせを検証し、DCへ向けた誘客につなげます。

3 ECショップの活用と観光・物産の連携による販売強化

本県の特産品を販売する「晴れの国おかやま館」やECショップでの購入者へのポイント付与による売上増進や、ECショップの内容充実と機能強化を進めます。また、DC関連事業や「岡山観光WEB」等の情報発信力を活用し、県産品の魅力発信と販売促進に取り組みます。

4 新しい時代のおもてなし推進

市町村や観光団体、ボランティアガイド団体等と連携し、オンラインセミナーや研修会等を通じて、ニューノーマルな旅のおもてなしを推進しながら、本県を訪れる観光客の満足度を高め、来訪者を通じた情報発信とリピーターの確保に努めます。

令和3年度事業総括表

(単位:千円)

令和3年度予算総額 330,322千円 (146,725千円)

誘客受入事業 146,037千円 (78,867千円)			
I	1	魅力ある観光商品づくりとプロモーション	115,434
	2	教育旅行の誘致	9,768
	3	フィルムコミッション活動	12,529
	4	コンベンションの誘致	4,032
	5	広域観光の推進	2,410
III		おもてなしの推進	
	1	研修会の開催等	1,307
	2	観光事業功労者の表彰	557
誘客受入事業費合計			146,037

情報発信事業 77,615千円 (59,034千円)			
II	1	DXの推進と多様な媒体を活用した情報発信	67,755
	2	市町村等との連携PR事業	2,403
	3	総合的な観光案内業務の実施	7,457
情報発信事業費合計			77,615

物産振興事業 94,526千円 (-)			
IV	1	晴れの国おかやま館の運営等	48,425
	2	観光との連携による県産品販売強化戦略	29,601
	3	バーチャル版アンテナショップの構築と活用	15,720
	4	伝統的工芸品振興事業	780
物産振興事業費合計			94,526

収益事業 1,741千円 (1,524千円)			
V	1	広告収益事業	1,057
	2	不動産管理事業	684
収益事業費合計			1,741

法人管理 10,403千円 (7,300千円)		
法人の管理運営		10,403

() 内は前年度当初予算

[個別事業]

I 誘客受入事業

1 魅力ある観光商品づくりとプロモーション

新たな旅のニーズとして「安全安心」「3密回避」「自然体験」などのキーワードを意識した観光素材の発掘と磨き上げを実施し、個人向け商品の販売を促進する。また、旅行会社等へのプロモーション活動や商談会については、デジタル化を推進し効率化を図る。さらに助成金を活用し団体旅行の需要喚起を図る。

(1) マーケティングに基づく誘客戦略への取組 **新規**

デジタル化時代にふさわしいプロモーションを進めるために、データ分析ツールと専門家のアドバイスをもとに各種データの分析と可視化を行い、エビデンスに基づくニーズ把握とターゲット設定、プロモーション戦略の立案に取り組む。さらに、データの分析結果を市町村や観光協会等と共有し、連携して効率的な誘客につなげていく。

(2) プラットフォーム事業者との連携

①着地型商品の開発と販売促進

観光素材の商品化、販売・精算を一貫して行う専門業者である観光販売システムズと連携し、商品の開発と磨き上げ、全国の旅行会社への販売を行うほか、令和2年度に新設した予約専用サイト「VISIT 岡山県」を通じて個人向け販売を強化する。

②体験型観光商品の充実

近年、人気が高まっている体験型観光の充実に向け、国内最大級の体験レジャー予約サイトを運営するアソビューと連携し、新たなニーズに対応した体験素材の発掘・磨き上げと販売を促進する。

(3) 旅行会社向けプロモーション

①旅行会社への働きかけ

これまで大都市へ出かけて開催していた商談会については、オンライン方式を取り入れて実施するとともに、DCへ向けた新規素材を中心に造成

を働きかける。また、旅行会社の商品造成担当者や年金旅行関係者等を対象に視察招致を行い、顧客ニーズを踏まえた旅行商品の造成を促進する。

②デジタルプロモーションの推進

オンライン会議システムを活用した旅行会社等へのプロモーションのほか、動画を含むデジタル観光素材の整備、オンライン視察ツアーなど、プロモーション活動のデジタルシフトに積極的に取り組む。

(4) 団体宿泊旅行の促進

G o T oキャンペーンやDCプレキャンペーンで回復が見込まれる観光需要をフォローするため、年度後半において、県と連携し、助成金を活用してバスを利用する団体宿泊旅行の需要喚起を図る。

(5) イベント等を活用したプロモーション

県内外で行われる観光イベント等へ参加し、プロモーション活動を行う。
(主な予定) 中四国9県観光展(大阪市)、旅まつり名古屋 ほか

2 教育旅行の誘致

市町村・観光協会・民間事業者等で組織する「岡山県教育旅行誘致推進協議会」の事務局として、本県ならではの学習素材の発掘、磨き上げを進めるとともに、助成金を活用して誘致活動の強化を図る。

(1) 訪問活動

本県への教育旅行実績がある首都圏、中京、京阪神エリアを中心に中長期的視点で誘致活動を続けるとともに、短期的には、近隣への行き先変更が見込まれる中四国エリアのニーズを情報収集しながら、機動的に訪問活動を行う。また、学校、旅行会社に対して、新たに開発した県内での平和学習の素材を提案し、ニーズの掘り起こしを図る。

(2) 旅行助成による需要喚起 **新規**

県と連携し、助成金を活用したプロモーションを実施し、これまで来県実績のある学校へのインセンティブに加え、ウィズコロナ期の行先変更への対応や新たな需要の掘り起こしを図る。

(3) 研修会等の開催

市町村や受入施設との情報共有を図るため、訪問活動に合わせてワーキ

ンググループ会議を開催する。また、教育旅行の実態や現場の動向を把握するためセミナーや県内視察を実施する。

(4) 台湾からの教育旅行誘致

現地からのニーズが高い学校交流に対応可能な県内の高校の拡充に努めるとともに、今後の状況を見極めながら、JNTO と連携した説明会への参加や視察招致に取り組む。

3 フィルムコミッション活動

岡山県ロケのワンストップ窓口の役割を担う「岡山県フィルムコミッション協議会」の事務局として、映像制作会社等に対し、積極的な誘致と支援を行う。また、市町村のフィルムコミッション組織と連携し、ロケ撮影への協力が可能な施設等の開拓など受入体制の強化を図る。さらに、支援作品を活用して観光誘客を図る。

(1) ロケの誘致活動

①映像制作会社へのプロモーション

- ・ジャパンフィルムコミッション主催「全国ロケ地フェア」への出展
- ・ロケツーリズム協会との連携による情報発信
- ・在京制作会社等へのPR活動 など

②ロケ支援と助成

- ・ロケハンへの地元調整及び同行案内
- ・撮影スタッフの交通費や宿泊費の一部を助成
- ・ロケ期間の雨天時に一定額を助成（どーしたんだ！晴れの国ロケ助成金）
- ・ロケ時の地元フィルムコミッションの炊出しに対する支援 など

(2) 支援作品を活用した誘客促進

ロケ支援を行った映画等を、ロケ地マップや「岡山観光WEB」の特集ページを通じてPRし、「ロケ地巡り」観光を促す。また、地元情報誌等の媒体を通じてファンづくりに努める。さらに、地域フィルムコミッション等によるロケ支援作品の公開イベントやロケ地マップ作成等への助成も行う。

<令和3年度の主な公開予定作品>

- ・5月 映画「しあわせのマスクット」
- ・10月 映画「燃えよ剣」

- ・ 11月 NHK朝ドラ「カムカムエブリバディ」
- ・ 令和4年 映画「とんび」

(3) 地域フィルムコミッションとの連携

①岡山県フィルムコミッション協議会の運営

窓口を岡山県フィルムコミッション協議会で一本化し、地域フィルムコミッション・市町村等との連携により、県内のフィルムコミッション事業の活性化を図る。

②研修会の開催等

県内フィルムコミッション等のスキルアップを図るため、ロケ誘致やロケ支援に関する研修会を開催する。

4 コンベンションの誘致

岡山市・倉敷市と連携し、コンベンションの回復状況を見極めながら、「国際MICEエキスポ」への出展のほか、大手旅行会社への施設情報やエキスカーションに必要な観光情報の提供等を行う。

5 広域観光の推進

中国地域などの広域エリアを対象に、自治体や観光団体等と連携した、県境を越えた広域観光を促進する。

(1) 鳥取県との共同事業

岡山・鳥取両県及び鳥取県観光連盟と共同で、東京のアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」でのPR活動などを通じて両県への誘客を図る。

(2) 広域観光推進組織との連携

- ・ 日本観光振興協会（本部・中国支部）
- ・ せとうち観光推進機構（せとうちDMO）
- ・ DISCOVER WEST 連携協議会
- ・ 中国地域観光推進協議会

Ⅱ 情報発信事業

1 DXの推進と多様な媒体を活用した情報発信

デジタルマーケティングを活用し、多様化するニーズに合わせた情報を、「岡山観光 WEB」をはじめ、多言語観光サイトやSNSで発信する。また、体験観光や宿泊の予約など実際の行動に結び付けられるよう、動画を用いたプロモーションに取り組む。

(1) インターネットを活用した情報発信（国内）

①岡山観光WEBによる情報発信

- ・ 季節情報（開花、紅葉情報等）や旬の特集ページ
- ・ レポートや動画による体験・アクティビティ紹介と予約機能
- ・ 晴れの国おかやま館の物販サイトとの連携強化
- ・ 地元ライターが岡山の魅力を厳選して紹介するコンテンツ
- ・ 県内の宿泊施設紹介と宿泊プラン予約機能
- ・ GPS機能を活用した観光スポットや宿泊施設の提案
- ・ AI（人工知能）によるユーザーの嗜好やニーズに合わせたモデルコースの作成
- ・ 旅行会社・マスコミ・学校向け情報と質の高い観光画像の提供
- ・ スマホアプリ「スマートニュース」との連携による情報提供
- ・ 専門家によるアクセス分析と集客対策 等

②SNSによる情報発信

フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどSNSの特性に合わせた情報を投稿し、本県への関心と来訪意欲が高いユーザーへ効果的にアプローチする。

③情報発信セミナーの開催

観光振興に携わる方を対象に、WEBやSNS等を活用した効果的な情報発信や集客方法について学ぶセミナーを開催しスキルアップに努める。

④AIカメラを活用した観光施設の混雑状況可視化 新規

感染症対策の一環として観光施設等にAIカメラを設置し、来訪者に施設の混雑状況を、「岡山観光 WEB」や施設の公式サイトを通じてリアルタイムに配信することで、安全・安心な岡山の観光を促進する。

(2) インターネットを活用した情報発信（海外）

①多言語観光サイト（7言語）による情報発信

アフターコロナを見据えた継続的な取組として、安全・安心な岡山の情報と国や地域の特性・ニーズに応じた観光情報を、英語、韓国語、中国語（簡体、繁体）、タイ語、フランス語、ドイツ語により発信する。

②SNSによる情報発信

県の海外PRデスクとも連携し、SNSを活用して、話題性のある観光スポットや、旅行者の関心が高い体験やグルメ等の情報を、英語、韓国語、中国語簡体字、中国語繁体字（台湾、香港）、タイ語、フランス語で発信する。

(3) 動画による戦略的プロモーション **新規**

DCの観光素材について、訴求したいターゲットを具体的に設定した動画を作成しSNS等で動画広告を配信。その閲覧結果等を検証し、DC本番に向け効果的なデジタルプロモーション戦略立案に取り組む。

(4) メディア等を活用した情報発信

①首都圏等のメディアへの取材協力

首都圏等のテレビや雑誌などに対して、情報提供及びロケ・取材に関する地元調整等を行う。

②地元メディアとの連携

岡山シティFM（レディオモモ）と連携し、県内各地域から直接情報を発信することにより、県内の観光を促進する。

また、地元情報誌やフリーペーパーと連携し、ロケ地観光等のPRを行う。

(5) おかやま観光特使を通じたPR

岡山県ゆかりの方に観光特使を委嘱し、名刺の交付やメルマガでの定期的な観光情報提供により、各自の活動のほか、SNSやロコミでの情報発信を通じて、岡山のPRを図る。

2 市町村等との連携PR事業

(1) 岡山観光WEBでのタイアップ

市町村・観光協会等とタイアップして、「岡山観光 WEB」で特集ページやモデルコース等を作成し、連携して地域の魅力を発信する。

(2) 観光コルトンの活用

本県の玄関口である J R 岡山駅前の地下道壁面に設置した電照パネル（観光コルトン）22面に、市町村等と共同で美しい景観や観光スポットの写真を掲示し、県内各地の P R を行う。

3 総合的な観光案内業務の実施

電話やメール等での問い合わせ対応のほか、県内各地の観光パンフレットの収集・送付など観光情報の発信を行う。

また、おかやま観光コンベンション協会が運営する J R 岡山駅新幹線改札横の「岡山市ももたろう観光センター」と連携し、広域的な観光案内の充実を図る。

Ⅲ おもてなしの推進

市町村や観光関係団体、ボランティアガイド団体等と連携し、オンラインセミナーや研修会を開催するなど、観光客受入側における新しい旅のおもてなしを推進しながら、観光客の満足度向上とリピーターの増加を目指す。

1 研修会の開催等

(1) オンラインセミナー等の開催

新しい旅のおもてなしやデジタル化の推進など、観光客の満足度向上や受入体制の充実を目的としたオンラインセミナーや研修会を開催する。

(2) 観光ボランティアガイドの活性化

市町村や観光ボランティアガイド団体と連携し、連絡会議や研修会を開催することにより、ガイドの資質向上と活性化を図る。

また、「岡山観光 WEB」でボランティアガイド団体の紹介等を行う。

(3) 市町村等との連携強化

市町村・観光協会等との連絡会議やオンライン会議を通じて、定期的な情報交換を行いながら団体間の事業調整や連携促進を図る。

2 観光物産事業功労者等の表彰

本県の観光及び物産振興に寄与し功労のあった方々や団体を定時会員総会で表彰する。

IV 物産振興事業

令和3年度から新たにに取り組むこととなった特産品等の宣伝紹介及び販売事業を、観光振興事業と一体的に推進することで相乗効果を生み出す。

1 晴れの国おかやま館の運営

(1) 店舗運営

岡山市の表町商店街に位置する「晴れの国おかやま館」にて、本県の県産品の宣伝紹介及び展示販売を行う。また、メディアや企業、団体、個人等からの依頼や問い合わせに対応し、県産品の情報の受発信を積極的に行う。

- ・所在地 岡山市北区表町1丁目1番22号
- ・店舗 1階 83.75 m² 銘菓、食品、地酒、い草製品 ほか
2階 73.36 m² 備前焼、郷土玩具、伝統的工芸品 ほか
- ・取扱事業者数 約300事業者
- ・展示商品点数 約10,000点

(2) ギフト事業

夏季・冬季の年2回、贈答品やお取り寄せに対応したフルーツや瀬戸内の幸などの旬の食材を中心とした県産品のギフトカタログやECショップにより、岡山県の優れた旬の特産品を県内外へ広く宣伝紹介及び販売する。

(3) ECショップの運営

掲載商品点数の増加や「岡山観光WEB」からの流入促進など、合併を契機に売上強化に取り組む。

(4) ふるさと納税返礼品の受託

引続き岡山県及び市町の取扱いを行うとともに事業拡大に向け取扱自治体の拡張に取り組む。

(令和2年度実績)

岡山県、岡山市、笠岡市、玉野市、瀬戸内市、浅口市、里庄町

(5) 物産展・イベント等への出展対応

県外の百貨店等で開催される県産品の展示販売会や県内でのイベント等への出展、出展業者の斡旋等を通じて県産品の振興及び観光誘客を図る。

2 観光との連携による県産品販売強化戦略 新規

(1) オンラインショップでのポイント還元

「晴れの国おかやま館」ECショップにおいて、購入者に次回利用できる電子ポイントを付与するとともに送料を無料とするキャンペーンを実施し、県産品の販売促進を図る。

(2) DCを契機とした県産品売上向上戦略

プレDCの開催を契機に、「晴れの国おかやま館」の来場者に対し、購入額に応じて次回使用できるクーポン券を発行し、観光客等による県産品購入の需要喚起を図る。

(3) ECショップの充実に向けたサイト再構築

「岡山観光WEB」や「晴れの国おかやまカタログ」（県産品紹介サイト）との連携を含め、「晴れの国おかやま館」ECショップをより販売力のある魅力的なサイトに再構築する。

3 伝統的工芸品振興事業

(1) 「晴れの国おかやま館」での展示・販売

国及び県指定伝統的工芸品の普及啓発及び販路開拓を図るため、「晴れの国おかやま館」において指定13品目の展示・販売を行うとともに、地元情報誌の記事型広告等を通じて伝統的工芸品のPRを行う。

【岡山県伝統的工芸品】

勝山竹細工、備前焼（以上国指定）

手織作州絣、津山箔合紙、倉敷はりこ、撫川うちわ、備中和紙、高田硯、

がま細工、鳥城紬、虫明焼、津山ねり天神、郷原漆器（以上県指定）

(2) 岡山駅の展示コーナーの運営

JR岡山駅新幹線構内コンコースにおいて作品や製造工程などを展示し、本県の伝統的工芸品の魅力を県内外の多くの人に伝える。

V 収益事業等

1 広告収益事業

(1) 岡山観光WEBへのバナー掲出

「岡山観光WEB」へのバナー広告を会員から募集し掲出することでサイト運営の安定化を図る。

(収入見込 2, 480千円)

(2) 観光コルトンへの広告掲出

市町村との共同PRの場である岡山駅前地下道の電照パネル(観光コルトン)22面について、企業広告を掲出し運営の安定化を図る。

(収入見込 1, 100千円)

(3) 観光支援自動販売機の活用

コカ・コーラボトラーズジャパン(株)と連携して設置している観光支援自販機の売上の一部を寄付金として事業に充当する。また、新たな設置候補地について情報収集を行う。

(設置場所) JR岡山駅前、岡山後楽園、倉敷スポーツ公園など12ヶ所

(収入見込 2, 000千円)

2 不動産管理事業

(一社)岡山県産業貿易振興協会から引継ぐ所有土地2筆の賃貸事業を行う。

・岡山市北区田町一丁目3-122 宅地197.37m²

・岡山市北区田町一丁目3-102 宅地 78.49m²

(収入見込 4, 080千円)